

# 第42回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 毛筆の部・硬筆の部

## 実施要項

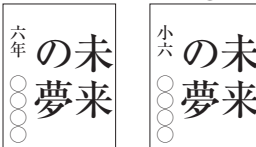
- 1. 行 事 名** 第42回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会
- 2. 目 的** 書写書道を通して青少年の健全な心身の育成と国民の豊かな心情を養い、併せて伝統文化の普及振興を図り、国際的発展に寄与する。
- 3. 主 催** 公益財団法人 日本武道館
- 4. 後 援** 文部科学省・中国大使館・全国都道府県教育長協議会・全日本書写書道教育研究会・全国都道府県立武道館協議会・公益社団法人日本PTA全国協議会・朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社・日本経済新聞社・産業経済新聞社・東京新聞・日本放送協会・日本テレビ放送網・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京（以上申請中）
- 5. 大会役員**（敬称略/予定）
  - 大会会長** 高村 正彦
  - 大会副会長** 川端 達夫
  - 大会顧問** 江渡 聡徳・河村 建夫・塩谷 立・中山 成彬・森 英介  
山谷えり子（五十音順）
  - 大会委員長** 片岡 正徳
  - 審査顧問** 飯高 和子・石橋 鯉城・井上 一郎・内村 嘉秀・加藤 東陽  
加藤 泰弘・熊坂 尚史・清水 透石・杉崎 光波・田中 孝一  
辻 春葉・中野 北溟・長野 竹軒・樋口 咲子・平形 精逸  
宮澤 鷺州・米本 美雪・渡辺富美雄（五十音順）
  - 審査委員長** 片岡 正徳
  - 審査副委員長** 加藤 東陽・中島 昭博
  - 審査委員** 青山 浩之・浅井 幸夫・石井 昭正・石坂 雅彦・伊藤 興秋  
井上 志保・岩永 栖邨・江崎 美里・小野寺聿源・恩田 道子  
加藤 淑子・金子 春洋・北嶋 悠・倉田 政子・見城 正訓  
小泉 笙子・小林 妙子・小松 錦柳・西城 研・佐々木裕紀子  
清水 文博・鈴木 昭和・鈴木 和枝・芹澤 翔華・鷹啄 知美  
高橋 観水・滝口 雅弘・田中 香・種谷 萬城・角田 大壤  
釣 朋代・仲本 蘭秀・西野 光文・古谷 浩之・幕田 魁心  
増田 与久・松浦 通子・松田 久枝・松本 雙鶴・松本 貴子  
見方 弘子・光野 美香・森口智嘉子・矢口 三郎・安塚 旭洞  
山口志げ子・山口 礼子・山野 雅行・横倉 佳男・横田 貫厚  
渡邊 美穂（五十音順）

- 6. 展覧会及び授賞式**


日 時	令和8年8月23日(日)	展覧会	午前10時から午後4時まで
		授賞式	午後1時から
- 会 場** (予 定) (展覧会) 日本武道館 中道場(東京都千代田区北の丸公園2-3) TEL: 03-3216-5100(代)  
(授賞式) 同 大道場  
**【最寄駅】**地下鉄「九段下駅」東西線・半蔵門線・都営新宿線2番出口より徒歩5分  
※授賞式・展覧会の対象は、高円宮賞から日本武道館奨励賞まで。
- 7. 出 品 規 定** 裏面記載のとおり。
- 8. 出 品 手 続 き** 裏面記載のとおり。
- 9. 審 査** (1)書写書道界の権威者によって構成された審査委員会において厳正公平に審査します。  
(2)実施要項（出品目録記載事項を含む）の規定違反のほか虚偽・不正が認められる作品や団体は、審査の対象としないことがあります。  
(3)審査結果は、7月中旬までに郵送をもって通知します。  
(4)審査結果についての異議は一切、認めません。
- 10. 表 彰** (1)個人賞(予定)  
高円宮賞、内閣総理大臣賞、日本武道館大賞、衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞、日本武道館会長賞、日本武道館理事長賞、後援団体賞(17団体)、審査委員長奨励賞、日本武道館奨励賞、日本武道館賞、大会奨励賞(以上に楯と賞状)、特選、金賞、銀賞、銅賞(以上に賞状のみ)のいずれかの賞を※全員に授与します。  
(2)団体賞(予定)  
全国優秀団体賞、全国優良団体賞を出品数及び成績等を考慮して選びます。  
※やむを得ない事由により、審査会が実施困難となった場合を除く。
- 11. そ の 他** (1)複数団体から同一人の出品はできません。  
(2)全ての出品作品について、後日、表装申込み(有料)を受け付けます。  
なお、表装申込みのない方は、作品の返却はいたしません。  
(3)出品作品は、努めて保護しますが不可抗力による破損等については、その責を負いません。古い墨液や水溶性墨液などは表装した際に、文字がにじんだり消える場合がありますのでご注意ください。  
(4)受賞者名簿(有料)には、高円宮賞から日本武道館奨励賞までの作品を写真版で、日本武道館賞及び大会奨励賞は氏名等をそれぞれ掲載予定です。  
(5)上位入賞者については、当財団ホームページ及び月刊「書写書道」誌上にて掲載予定です。  
(6)当財団で掲載した作品画像の転載・加工・使用は固くお断りします。
- 12. 問 合 せ 先** 公益財団法人 日本武道館 書道展事務局  
TEL 03-3216-5144(午前10時～12時、午後1時～4時)  
FAX 03-3216-5156(24時間受信可能)  
※課題語句についてのお問合せはご遠慮ください

(裏面へ続く)

出品規定

	毛筆の部	硬筆の部
参加資格	1部 幼児及び小学校 2部 中学校 3部 高校 4部 大学（専門学校生等含む） 5部 一般	1部 幼児及び小学校 2部 中学校 3部 高校 4部 大学（専門学校生等含む） 5部 一般
語句	本展覧会の目的にふさわしい内容とする。 ただし、 <u>1部は学年別配当漢字準拠とし、2部の漢字は常用漢字を使用（学習指導要領準拠）。</u> ※著作権の関係で、3部・4部・5部は、出品票の裏に作品語句（コピー可）・出典名・作者名を明記。 ※著作権は、作者の創作時点から死後70年原則保護されます。詳細は「公益社団法人著作権情報センター」のホームページをご参照ください。	<u>指定の課題語句（課題は別紙に記載）。</u>
書体	1部は楷書、2部は楷書または行書、3部・4部・5部は自由。	1部は楷書、2部は楷書または行書、3部・4部・5部は自由。ただし、草書体で書く場合は旧字体使用のこと。 <u>（2部までは連綿不可）</u>
署名	幼児は氏名（名だけでも可）、小学生と中学生は学年と氏名を署名。※学年は、（例）小六、中三 とし、（例）六年、三年 としない。  3部・4部・5部は作品に応じた署名。雅印のみは不可。ただし、臨書作品は署名の後に「臨」と記載。	幼児は氏名（名だけでも可）、小学生と中学生は学年と氏名を学年・氏名欄に記入。 ※学年は、別紙「指定課題」の記載のとおり書いてください。  3部・4部・5部は用紙枠内に作品に応じた署名（〇〇書、または、〇〇かく）。雅印のみは不可。
出品点数	1人5点まで。	1人5点まで。 5部（一般の部）は、一課題につき5点、合計15点（3課題×5点）まで出品可。
用紙	<u>白色の半紙</u> （タテ約33cm、ヨコ約24cm）を縦長で使用。	<u>本展覧会指定の硬筆規定用紙を縦長で使用。</u> 規定用紙外の出品は審査されません。規定用紙の申込は、郵送またはFAXで承ります（FAX：03-3216-5156）。申込は別紙の申込書をご利用ください（1部50枚綴り、税込200円）。
用具	毛筆用具を使用。 古い墨液や水溶性墨液などは、表装した際に、文字がにじんだり消える場合がありますので、ご注意願います。	1部は鉛筆のみ、2部は鉛筆またはペンを使用し、3部・4部・5部は自由。 ※フリクションインキ等、消せるインクの使用は不可。ペンは硬筆用に限る。

出品手続き 毛筆の部・硬筆の部ともに以下の要領で出品してください。

	毛筆の部	硬筆の部
出品料（税込）	1部・2部・3部は、1点につき700円 4部・5部は、1点につき1,000円	1部・2部・3部は、1点につき500円 4部・5部は、1点につき700円
出品手順	<p>※50点以上出品される場合には、2割の出品料割引（整理費）と受賞者名簿1部贈呈の特典があります。出品料合計から20%を差し引いた金額をお振込みください（毛筆の部と硬筆の部の出品数の合算不可）。</p> <p>※例えば毛筆の部で1～3部の方が50点出品した場合、出品料の合計は28,000円（35,000円×80%）になるため、41～49点で出品するよりも、50点出品された方がより安くなります。</p> <p>① 出品票に必要事項を記入の上、出品する全作品右下に貼付してください。 ※1人で複数出品する場合、作品をひとまとめにして、出品票部分をクリップでとめてください。その際、出品票の作品番号は、同一作品番号とし、序列順に1の1、1の2のように枝番号を記入してください。 ※毛筆の部 3部・4部・5部については、出品票裏面に作品語句（コピー可）、出典名、作者名を明記してください。</p> <p>② <b>毛筆の部は白色の出品目録に、硬筆の部は水色の出品目録に</b>記入例に沿って必要事項を記入の上、出品料を計算してください（50点以上の割引にご注意ください）。※児童生徒等の作品募集については、学校等を介さなくても応募できます。 ※初めて出品する団体、また個人の方は、出品票と目録への登録番号の記入は不要です。 ※出品票と出品目録の入力フォーム（エクセル）を当財団ホームページ上で公開しておりますので、ダウンロードしてご使用いただくことも可能です。 <a href="https://www.nipponbudokan.or.jp/shodou/takamado/kaisai">https://www.nipponbudokan.or.jp/shodou/takamado/kaisai</a> </p> <p>③ 出品料は、令和8年6月9日（火）までに、下記の銀行口座へお振込みください（振込手数料は申込者負担）。なお、出品料は理由の如何を問わず返納いたしません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振込先 リソナ銀行 九段支店（銀行コード0010・店番号274） （普通）1572328 口座名義「公益財団法人日本武道館 書道口」 ザイ) ニッポンブドウカン ショドウギ</p> <p>◎お振込みの際、振込人氏名欄に登録番号※と振込人氏名を必ずご記入（入力）ください。また、当方での入金確認のため、出品目録の右上欄に、お振込みの「年月日・振込金額・振込人名」をご記入ください。 ※登録番号は、案内状封筒の宛名下段に印字の「KもしくはSで始まる4ケタの番号」です。 初出品の団体・個人の方は、登録番号の代わりに、連絡先電話番号と振込人氏名をご記入（入力）ください。</p> </div> <p>④ 出品票を貼付した作品と受領証を貼付した出品目録を日本武道館へ令和8年6月9日（火）必着でご送付ください。 （送付先）〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2番3号 公益財団法人 日本武道館 書道展事務局 宛 ※発送の際、封筒などの表に『第42回展公募作品在中』と明記してください。</p>	

# 第42回 高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 硬筆の部 指定課題

幼児

く	さ		
か	だ	ん	

しめい

小一

が	つ	こ	う
な	つ	や	す

なつ やすみ

小二

ま	ん	月	が	き
れ	い	だ	な	。

まん 月 が き

小三

朝	の	風	に	、	こ	い
の	ほ	り	が	元	気	に
泳						

朝の風、こいのぼりが元気に泳いでいます。

小四

白	い	時	計	台	の	前
で	、	友	人	と	写	真
と	り	ま	し	た	。	

白い時計台の前で、友人と写真をとりました。

小五

発	芽	に	は	水	分	、
空	気	、	適	当	な	温
が	必	要	で	す	。	

発芽には水分、空気、適当な温度が必要です。

小六 (改行適宜)

日	本	の	工	業	は	、	太	平	洋
ベ	ル	ト	に	あ	る	三	大	工	業
を	中	心	に	発	展	し	て	き	た

日本の工業は、太平洋ベルトにある三大工業地帯を中心に発展してきた。

中一 (楷・行書 改行適宜)

小豆島は、日本で初めてオリーブの栽培に成功したことで有名です。

中二 (楷・行書 改行適宜)

日本の文人画は、江戸時代の中ごろに池大雅・与謝蕪村らによって大成された。

中三 (楷・行書 改行適宜)

万年筆は書き記す機能に加えて、華麗な装飾が施され「筆記具の王様」と言われる。

※高・大・一般(3部・4部・5部)は用紙枠内に作品に応じた署名(〇〇書、または、〇〇かく)。雅印のみは不可。  
また、草書体で書く場合は旧字体を使用のこと。  
中学校まで(1部・2部)は連綿不可。

高・大・一般 (書体自由・四行書き・配置自由)

すみゆく水に秋萩たれ  
玉なす露はすすきにみつ  
思えば似たり故郷の野辺  
あわが兄弟たれと遊ぶ

※ 〇〇〇〇

大和田建樹「故郷の空」

高・大・一般 (字種変換可・書体自由・配置自由)

蓮葉の濁りにしまぬ心もて  
なにかは露を玉とあざむく

※ 〇〇〇〇

「古今和歌集」遍昭

高・大・一般 (書体自由・行書き・改行適宜)

宇宙の大に比べれば、太陽も  
一点の燐火に過ぎない。況や  
我々の地球をやである。

「侏儒の言葉」※ 〇〇〇〇

芥川龍之介「侏儒の言葉」

■硬筆規定用紙のお申し込みは、裏面の申込書に必要事項を記入し、日本武道館事務局へご送付ください。